



小牧野遺跡出土品が県重宝に指定されました！

令和7年8月20日、本市が所有する青森市有形文化財「小牧野遺跡の縄文後期の遺物」が青森県教育委員会によって県重宝「小牧野遺跡出土品」として指定されました。県重宝については、県内に所在する有形文化財のうち、県にとって重要な資料が指定されるものです。

小牧野遺跡では、平成元年から平成17年までの発掘調査によって、土器、石器、土製品、石製品が数多く出土しています。今回指定された資料は、人骨収納用の大型壺、動物の彫刻をもつ石皿、土偶や耳飾り、遺跡の特色を示す三角形岩版など、67点の資料です。

これらの資料は、小牧野遺跡の環状列石の用途・性格を解明する上で重要な資料であり、縄文時代の生活や精神文化の研究に大きく貢献する資料であることが評価されました。

本市所有の考古資料では、初めての県重宝指定となります。小牧野遺跡出土品は、青森市野沢の縄文の学び舎・小牧野館で展示していますので、是非ご覧ください。

縄文の学び舎・小牧野館で考古学教室を開催しました。

令和7年11月8日と11月30日、縄文の学び舎小牧野館において、文化庁の地域文化財総合推進事業補助金を活用した「考古学教室」を開催しました。

11月8日には、縄文時代の祭祀や儀礼、彩色された土器をテーマにした文化遺産課職員による講座と、縄文時代の赤色顔料をイメージしたベンガラ色に布を染める体験ワークショップが行われました。

11月30日には、同じく補助金を活用して制作した冊子「縄文時代の謎を探る 環状列石と祈りのかたち」を使って、縄文時代の環状列石をテーマとした文化遺産課職員による講座が行われ、その後、小牧野遺跡のどんぐりを使ったカレーが参加者に振舞われました。



ワークショップの様子



制作した冊子

遺跡を大切に

青森市内では、現在までに440カ所以上の遺跡が見つかっています。遺跡は、地下に埋もれているため、現在、遺跡の存在が確認されていない場所でも新たに遺跡が発見される可能性があります。

住宅等の建築や、地面を掘削するような工事を行う場合には、計画の早い段階で計画地における遺跡の有無について文化遺産課まで照会してください。

【問合せ】 青森市教育委員会事務局文化遺産課

青森市大字野沢字沢部108-3 縄文の学び舎・小牧野館2階

TEL017-718-1392 FAX017-718-1394